

保育教育学科の学びの概念図

保育教育学科の学生は、1年次から研究プロジェクトに加わり、仲間と主体的に学びます。実習等で子どもたちと関わりつつ、自分の履修計画に沿って、段階的に専門教育のステップを上ります。4年間の学びにより人間形成を探究し、「豊かな人間性」と「多様な子どもたちに対応できる高い実践力を備えた人材」を目指します。

1年次

2年次

3年次

4年次

専門科目

主体的に学ぶ 基幹研究プロジェクト

表現研究(児童文化)Ⅰ 表現研究(児童文化)Ⅱ 卒業研究基礎演習
 言葉研究(読み聞かせ実践) 保育教育文献講読
 心理・教育統計調査法Ⅰ 心理・教育統計調査法Ⅱ

【学びの集大成】
卒業研究

段階的に着実に学ぶ

専門基幹科目

[教育の基礎理論] [福祉と養護の基礎理論]
 [領域の専門的事項と指導法に関する科目]
 [教育相談等に関する科目]
 [教科及び教科の指導法に関する科目]
 [福祉と養護の内容に関する科目]

【学びの発展】

専門発展科目
【特別支援教育】【司書教諭】

【実践的な学びの集大成】
教職実践演習(小・幼)

実践的に学ぶ

保育実習 教育実習(幼稚園・小学校・特別支援学校)
 保育教育職インターンシップ

履修モデルの選択
 教職論(小・幼)
 スタートアップセミナー

基礎科目

学科基礎科目

【ライフデザイン】【言語リテラシー】【情報リテラシー】

学部共通基礎科目

【教養科目】【しまねの文化】【体育】【外国語】

ディプロマポリシー

(学位授与方針)

知識・技能

- 保育・教育及び関連する諸分野に関する専門的な知識及び技能を身に付けている。
- 乳児期から児童期までの子どもの発達に関する課題を論理的に理解できる。

思考力・判断力・表現力

- 保育・教育に関する諸課題について多様な角度から考察し、自ら主体的に課題解決に向けた思考ができる。
- 学修した専門知識と技能を、言葉、文章、図表、身体表現等の多様な方法により的確に表現することができる。

関心・意欲・態度

- 集団活動において、協同的に活動して成果を上げる姿勢とコミュニケーション力を有する。
- 地域社会において、保育者、教育者としての役割を果たすことができる人権感覚、倫理観、職業観を身に付けている。

免許・資格

(1年次秋学期までに選択)

保育士 / 幼稚園教諭一種 / 小学校教諭一種 / 特別支援学校教諭一種 / 司書教諭